

## Broaden your horizons 87 ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

先日、「第11回次世代の薬剤師を創る会」をメディセレ東京校で開催しました。薬剤師は宮沢賢治の創作意欲をかきたてた(書き立てた)齊藤宗次郎のように、丈夫なからだを持っているのです。当日は台風でしたが、雨にも負けず、風にも負けず、九州からも北海道からも参加してくださいました。

一般口頭発表のトップバッターは、メディセレスクールの講師であり、NR(栄養情報担当者)でもある小倉佑介講師です。贈り物は「特定保健用食品(トクホ)」で、とてもおいしくいただきました。今、トクホが増殖しています。お茶だけではなく、コーラにもサイダーにもトクホマークが付いています。同時に、薬よりもサプリを重視する「サプリメント」も増えてきています。トクホについても、サプリについても、私たち薬剤師が患者さんに正しい知識を伝えなければならない、そう思いました。

続いて、「あいの薬局」(東京都)の平野奈津子先生からは「胃薬でも副作用の原因になる?」という素敵な贈り物をいただきました。胃のむかむか感が近隣のクリニックを受診、ネキシウムを処方された患者さんの両腕にあざを見つけたそうです。ヒヤリングの結果、他の病院からプレタールが処方されていることが分かり、医師に状況をお話してプレタールをカット、その後、患者さんが病院の処方せんを持ってきて下さるようになったという実例をご紹介いただきました。患者さんと向き合う姿勢の大切さが伝わってきました。

トリは、「回生薬局」(佐賀県)の吉久保匡甫先生にお願いしました。吉久保先生の贈り物「熱中症と五苓散」では、質疑応答でとても盛り上がりました。「簡単スポーツドリンク」(水1ℓ+砂糖大さじ4+塩小さじ半分)の作り方や、『学問のすすめ』ではなく「キュウリのすすめ」、健康の味方・ゴボウ茶など、知のおまけをご提供いただき、大満足でした。

特別講演の演者は、「キリン堂」医療事業本部の鶴見健先生です。店頭で「ルルとパブロン、どちらが効きますか?」という質問を受けたとき、薬剤師はきちんと答えられるのでしょうか? “考える”薬剤師であること、“観る”薬剤師であることの大切さを教えていただきました。OTC薬でこんなに深いお話が聴けるとは思わなかったと大好評でした。

薬剤師のお仕事はとても間口が広く、とても奥深いものなのです。これからも、ともに学びましょう!